



9月号

令和元年8月30日

横浜市立東中田小学校

校長 天野 直美

TEL.802-0500 FAX.801-4089

WEBページ <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/higashinakada/>

## 子どもたちの支えとなるために

校長 天野 直美

夏休みが終わり、子どもたちの元気な声が学校に戻ってきました。休み中の子どもがいない期間を使って教職員が校内整備と研修を行いました。毎年夏休みに教職員は自己研鑽に努めるとともに夏休みが明けて戻ってくる子どもたちを迎えるための準備を行っております。今回はその内容を皆様にご紹介します。

まず校内整備ですが、技術員が中心となりオレンジ階段のペンキ塗り、職員室前廊下や保健室・印刷室等のワックスかけ、校舎内外の不要品廃棄と整理・整頓を行いました。特に、ものの必要性を見極めて不要なものを廃棄し分類整理したことで、校舎内がすっきりとして使い勝手がとてもよくなりました。さらにこの取組により今あるものとなないものが明らかになり学校予算執行の無駄を省くことや校舎施設の安全確保にもつながると思います。

次に校内研修ですが、新たに幼保小連携研修に取り組みました。今年度より3年間、御霊幼稚園、宮の台幼稚園、白百合愛児園の3園と協働し、子どもの育ちと学びを共有し幼保小のスムーズな連携を図ることを目的とした取組を行っております。幼保小のスムーズな連携を実現するためにはまず全教職員が保育の状況を知る必要があります。そこで3園で保育実習をさせていただきました。私も実習の様子を見せていただこうと、3園を巡回させていただきました。それぞれの園が特色ある取組を行っており、園児の自立を促すために努力していらっしゃることを感じました。実習を行った教職員も「行ってよかった。日々の指導に生かします。」と感想を述べていました。中には小学校入学前のほうが自立できているのではないかと見える園児の姿もありました。驚くと同時に出来ていることを小学校の指導に有機的に活用できないものかと感じました。最終目的は東中田小学校カリキュラムと幼稚園・保育園のカリキュラムを連結させることです。今後は小学校の授業を幼稚園・保育園の先生方に見ていただくなどの取組を行う予定です。



他には特別支援教育、人権、体罰・不祥事・服務、情報セキュリティ、学籍事務、食物アレルギーについて外部から講師を招いたり、教職員が講師となったりして研修を行いました。どの研修も子どもたちの安心・安全な学校生活を支えるために必要不可欠なものです。そこで具体的な場面を想定し、その場にいる誰もが迅速に対応できることを目標にして進められました。夏休み後の指導・支援に必ず生かされると思います。

夏休みの最終週には横浜市教育課程協議会が各教科・領域ごとに開催されました。教職員がそれぞれ担当する会に参加し、教育課程の作成手順や日々の授業による改善について国や市の動向をつかんできました。来年度はいよいよ新学習指導要領を実施することになります。今後本校で作成中の「東中田小学校カリキュラム」の内容について、地域や保護者の皆様のご意見を伺ったうえで準備し整え、来年の4月を迎えたいと思っております。準備ができ次第、学校からお知らせいたします。その時にはぜひご意見をお聞かせください。よろしくお願いいたします。